

# 2D-DIGE簡易測定試験

キャンペーン価格  
9万8千円!! (税抜)

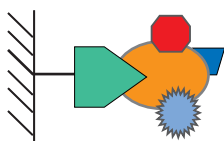
期間： 2011年12月末受付分まで適用  
キャンペーン予定セット数（50セット）に達し次第終了  
しますので、お申し込みはお早めに！

➔ 2D-DIGEは、複数種のサンプル中のタンパク質発現量の比較に有効です。

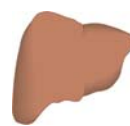
・ 比較可能なサンプルの例



培養細胞



タンパク質複合体



臓器

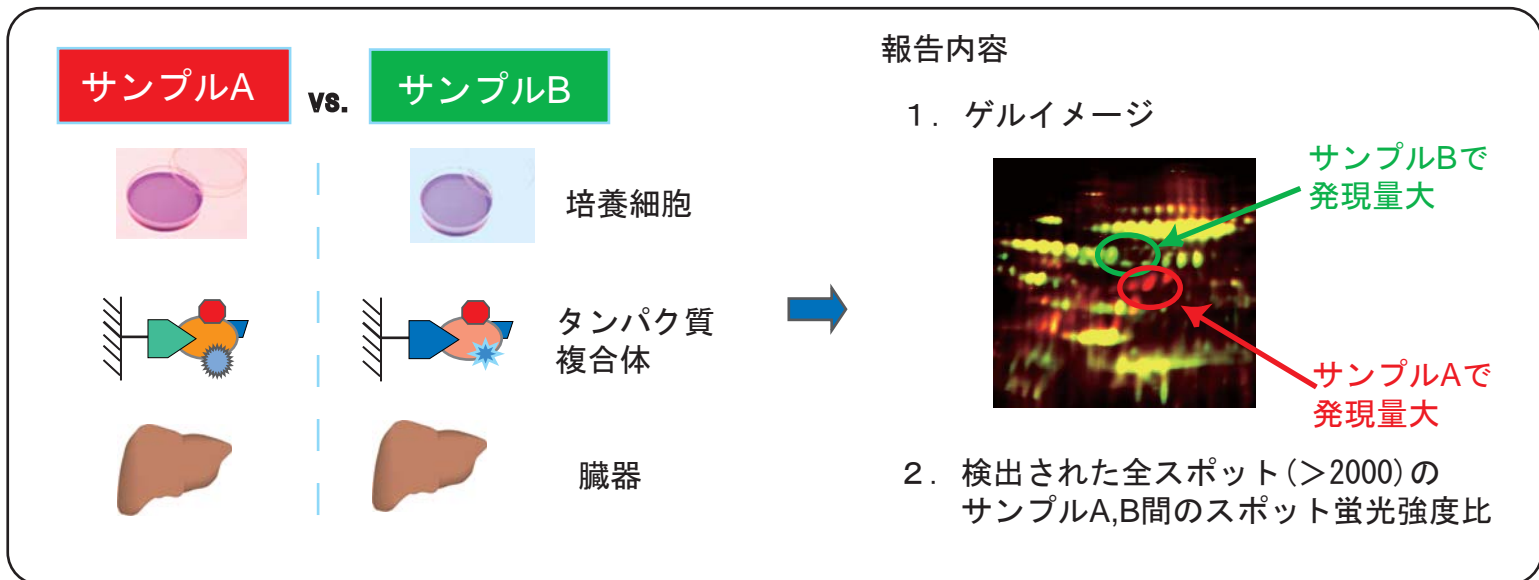
・ 利用例

薬効、毒性マーカー探索、メカニズム解析から  
抗体医薬品の安定性評価やロット管理まで 幅広い応用が可能です。

# 2D-DIGE(2-D Fluorescence Difference Gel Electrophoresis) 蛍光標識二次元ディファレンスゲル電気泳動システム

2D-DIGE法\*(GEヘルスケア社)は、比較したいサンプルを異なる蛍光色素でラベル後、等量混合して二次元電気泳動を行います。ラベルする蛍光色素に係わらず同じタンパク質は同一位置に泳動されるので、比較するサンプル中のタンパク質濃度の違いにより蛍光が異なります。これを利用して、一枚の泳動で検出される2000以上のタンパク質スポットの中でサンプル間で濃度が異なるスポットの定量比較解析ができます。

\*CERIは、2D-DIGEの正式なサービスプロバイダです。



## ・二次元電気泳動データベースとの照合によるタンパク質の推定 (オプション)

ラット肝臓、血清サンプル、ヒト血清サンプルであればCERI内の二次元電気泳動データベースとの照合により変動スポットに対応するタンパク質を安価に推定することが可能です。LC-MS/MSによる同定も受託しています。



## キャンペーン・プロテオーム解析のお問い合わせ

安全性評価技術研究所  
〒345-0043 埼玉県北葛飾郡杉戸町下高野1600番地  
tel: 0480(37)2601 fax: 0480(37)2521  
e-mail: cac-bio@ceri.jp

